

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

平成30年 7月 12日

（宛先）

滋賀県知事



提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県草津市笠山1-2-60

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

日電硝子加工株式会社

代表取締役専務取締役 北沢重夫

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（~~第20条第3項~~・~~第20条第4項~~
~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する
同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	日電硝子加工株式会社	代表取締役専務取締役	北沢重夫
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	滋賀県草津市笠山1-2-60		

1 事業所の概要

事業所の名称	日電硝子加工株式会社					
事業所の所在地	滋賀県草津市笠山1-2-60					
主たる事業	細分類番号	2	1	1	9	その他ガラス・同製品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	平成30 年度 ~	平成35 年度
---------	-----------	---------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

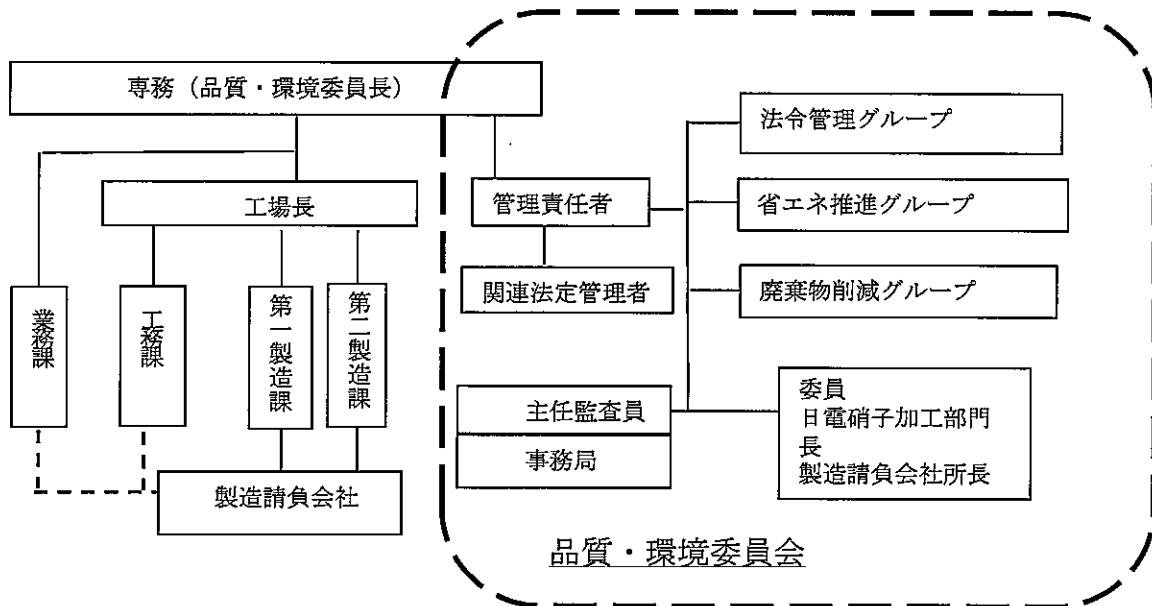
【環境理念】

自然と共存する事を常に意識し、環境負荷の低減に努め、地域社会と共生できる企業活動を通して、地球環境の保全と循環型社会の実現に寄与するものとする。
 また、お客様のご要望を理解し、どこまでもご要望にお応えできる製品を提供できる世界一の特殊ガラスの加工企業となることで、文明の進歩と豊かな未来に寄与します。

【行動指針】

1. 世界一のモノづくりを実現することで天然資源・エネルギーを有効活用し、廃棄物のミニマム化・リサイクル化による環境負荷低減を図る。
2. 関連法規制並びに、お客様のご要求事項の順守にとどまらず、自主管理基準を掲げ、汚染防止・品質向上を目指す。
3. 新しい技術に挑戦・絶対にやり通すという強い意志で課題を成し遂げることで社会の発展に寄与する。
4. 製造請負会社を支援し、全員の力を合わせて品質・環境目標に取り組む。また、マネジメントシステムとパフォーマンスをレビューし、改善する。
5. 著しい・望まない影響が発生。または予測される場合は、利害関係者へ適時・適切な情報を開示し、良好なコミュニケーションに努めることで最小限に抑える。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

- 照明設備新設時、LED照明機器の導入
- 既存の照明機器の交換 『Hf→LEDへの切替』
- 電気炉の断熱材の強化による電力コストの低減
- 電動フォークリフトの導入
- 原材料の異なるガラスの加工を工場別に細分化し、排出される産業廃棄物(特管)を縮小
- 工場天井の蛍光灯の間引き
- 夏季、冬季の使用電力の節電(デマンド監視)
- 運行車両、通勤車両のアイドリングストップ推進

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	照明設備の新設・更新時、LED等の省エネ効果の高い機器を導入	平成30年～35年度
2	運用対策	社有車、通勤車両、構内運行車両のアイドリングストップ	平成30年～35年度
3	設備導入対策	ファンの駆動にインバータを採用	平成30年～35年度
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

<p>原単位</p> $\left[\frac{\text{温室効果ガス排出量 (ton)}}{\text{売上 (百万円)}} \right]$ <p>で毎年1%削減</p> <p>温室効果ガス排出量はエネルギー使用量と比例します。 エネルギー使用量は売上と密接な関係を持ちます。 よって、売上を原単位の分母として設定しました。</p>
--

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	省エネ	廃棄物の収集運搬時、搬送先別での混載化を進め、処分場までの輸送効率を上げ、燃料の使用を軽減	平成30年 ～35年度
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			